

## 第四章

# 高齢者と 障害者に関する問題

- 1 「Ｙちゃん、一緒にやろうよ」……………●幼稚園…………… 103P  
～障害のあるＹ子と共に～
- 2 「おじいちゃん、おばあちゃんはドラえもん」……………●小学校1・2年… 111P  
～私たちのおじいちゃん、おばあちゃん先生（生活科を通して）～
- 3 「『ありがとう』の笑顔に逢いたくて」……………●中学校1～3年… 122P  
～高齢者との交流を通して、いじめ不登校をのりこえる子ども～
- 4 「先生、ぼく仕事ができるんだよ」……………●養護学校高等部… 131P  
～生きる力を育てる生活単元学習・現場実習・  
交流学習を通したH生の成長から～
- ・「学級通信」（事例3）…………… 138P

障害者や高齢者に関する問題と向き合うためには、地域にある様々な施設で生活している障害者や高齢者の現実の姿に学ぶ手法を取り入れることが必要です。そのために、計画的、継続的に関わり合う学習計画を立て、障害とは、高齢とは何かを学び、どのような思いで生活しているかを知ることが大事です。

交流を行う多くの子ども達は、相手に対し自分は何が出来るかという意識から学習が始まります。教師はその意識を大事にしながら、息の長い交流を続けることにより、子どもは、交流する人々の生き方から、自分の生き方を見返していきます。その中から、人としてのつながりを自覚し、共に生きる仲間という意識を高めていきます。

第4章はそのような子どもの意識の高まりを大事にして実践した事例を掲載しました。